

【概要版】 伊賀市の道路橋のこれから ～持続可能なインフラメンテナンスに向けた集約・撤去～

・伊賀市は安全性や信頼性を確保した道路サービスの提供を目的に「伊賀市 橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、予防保全型の管理手法へ転換することを目標としています。



50年以上経過し、橋の下がボロボロ

鉄筋コンクリート桁の劣化(60年経過)



橋桁が腐食

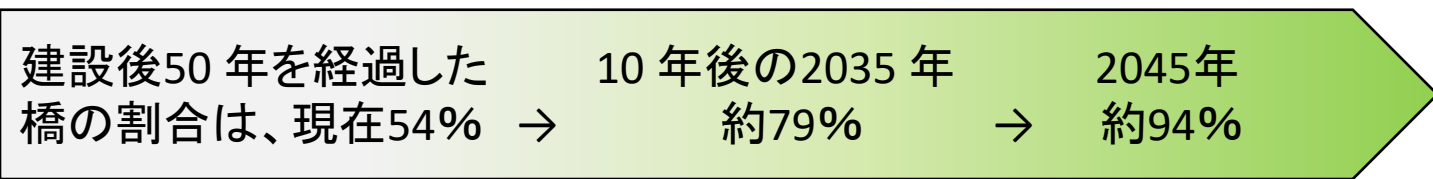
鋼桁の腐食・破断(60年経過)



突然！橋が落ちる

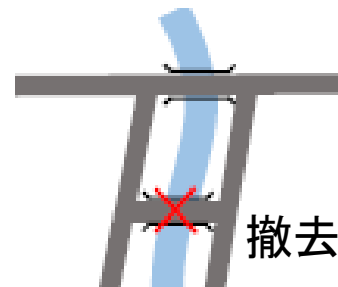
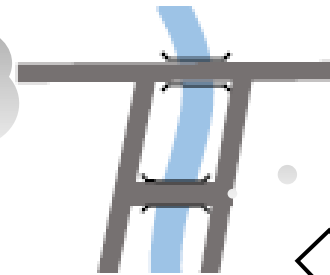
架橋後、65年が経過し落橋した橋梁

建設後、50年以上経過すると色々な症状が現れる



高齢化が進む

今は使っていない橋



撤去

・伊賀市は、1,500以上の橋を管理しており、財政状況や将来の人口減少などを考えると、永久にすべての施設を管理し続けることは、困難であると考えています。

・これからは、通常の維持管理に加え、経済状況や施設の利用状況の変化、施設周辺の道路の整備状況に応じて、橋梁の集約・撤去や機能縮小などにより、管理施設を減らし、将来の負担の軽減を検討しています。